

1 学年通信 むらさき集う

平成 26 年 1 月 24 日 発行

発行責任者：結城克明

感染症に注意



かぜによる欠席が増えてきました。今年の冬は雪がないのが特徴で、それはそれで通勤や通学には余計な神経を使わないですむ分好都合なのですが、空気がからからに乾燥し、外気温も低くかなり寒く感じられます。県内の小中学校においてインフルエンザによる出席停止の児童・生徒数が 1700 人を超えています。県内の定点医療機関の罹患者数も 10 人に迫る勢いで、流行期に入ったといえます。また、インフルエンザとともに感染性胃腸炎に対しても注意が必要です。こまめにうがいや手洗いをする、マスクを着用するなどの予防に努めるとともに、体調が優れないときにはしっかりと休養することも大切です。

入試本番



昨日県立 I 期選抜試験（自己推薦）の募集が締め切られました。この間、私立高校では推薦入試が行われています。まさに 2 年後に子どもたちが直面する問題です。

進路の問題は生徒本人の日常や家庭生活と直結しており、現在の生活の延長線上にあります。ですから進路決定の根幹には、これから生きていく本人がいなくてはなりません。本人がしっかり考え、悩まなくてはなりません。迷いながらも、自分はどんなふうにいきたいのか、将来どんどこでどのように自分を生かしたいのかなどを十分に考えることが必要です。いろいろなことを考えての選択と、そうでない選択、たとえその結果は同じであったとしても中味は雲泥の差です。過去に、中学 3 年生の秋の三者相談の時にはじめて親御さんと子どもの本音がぶつかるということがありました。ぶつかりながらも入試の時期が迫ってくると「どこを受ける」という話にならざるを得ません。

1 年生では次項で紹介する「働く人々に学ぶ会」を実施します。折に触れご家庭でも生徒の将来や希望について話題にしていきたいと思えます。

第 1 回 働く人々に学ぶ会

2 月 4 日（火）に本校において進路学習の一環として 5 名の方をお招きして「働く人々に学ぶ会」を行います。1 年生の教室を 5 つ使い、30～40 人の少人数で講話を聞きます。本日 5 つの講話の中から 2 つを選択しクラス分けを行いました。せっかくの機会ですので当日は 5 校時と 6 校時の 2 時間続きで行います。

今回の会では、社会の中核で活躍されている人々の講話を聞くことによって、どのような心構えで進路について考えなければならないか、自分が将来就きたいと考える仕事に就くためには中学校時代にもどのようなことを準備しておかなければならないかなどを考える機会としたいと思います。また、実社会で活躍されている方々からの提言によって子どもたち一人ひとりが持っている価値観や創造力の深化を図りたいと考えています。

来週の予定

		入試関係
1 / 27 (月)	普通授業 部休日 ※スプリングコンテストチャレンジ週間～31日	
28 (火)	普通授業 ※総合学習「働く人々に学ぶ会」事前指導	
29 (水)	普通授業	
30 (木)	普通授業	尚志、女子大付属高校合格発表
31 (金)	B案 6校時 ※6校時：スプリングコンテスト ※第3回漢字検定 16：30 ※年表コンテスト問題配付	